

2021 年度 日本生活支援学会 第 12 回全国大会の報告

2021 年 11 月 27 日（土）に 2 年ぶりの全国大会をオンラインにて開催しましたことをご報告いたします（参加総数は 57 名，大学生 13 名を含む）。ご参加およびご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

大会テーマを「人間科学としての生活支援を捉える」とし、黒澤貞夫会長より「人間科学の源流について」ご講演いただきました。また、金城大学の木林勉教授には「生活とりハビリテーション」について基調講演をいただきました。

研究発表には、4 名の応募があり、それぞれ興味深い内容について発表していただきました。質疑応答は、進行に手間取り十分な時間が持てませんでした。しかし、参加者の方からチャット機能を使ったあたたかなメッセージや、説明の補足等を発信していただき、また黒澤会長からは 1 題ごとに丁寧に講評をしていただいたことで充実した発表会となりました。

大会の最後に次年度開催地となる大阪を代表して浅野幸子さんより令和 4 年度は対面での開催を予定しているのご挨拶をいただきました。今大会は、オンライン開催になり交流ができずに多くの方が寂しい思いをしたのではないかと思います。来年は、大阪の地で皆様とお会いできることを楽しみにしています。

2021 年 12 月吉日

石川大会実行委員会一同